

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

I. 法人運営の基盤強化

公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として、また住民参加の地域福祉を推進する社会福祉協議会として、地域住民や関係者のみなさまの理解と信頼を得られる法人運営を行うことは非常に重要な課題です。

そのため、評議員会・理事会を中心とした社協組織全体でのチェック体制の強化に努め、財務状況や事業内容の積極的な公表等とあわせて、事業運営の透明性の確保を推進しました。

また、社協会員の募集による地域福祉事業の自主財源確保に努めるとともに、職員の人材確保と資質向上を推進し、法人運営及び事業実施の体制整備に努めました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会を開催し、社会福祉法人として適正な組織及び事業の運営を図った。

ア. 理事会の開催

第1回	令和5年5月29日（月）
報告第1号	令和4年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会流用・充用について
議案第1号	令和4年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	令和4年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出決算について <u>*監査報告</u>
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の欠員に伴う選任候補者の推薦について
議案第5号	令和5年度1回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の開催日時及び内容等について
第2回	令和5年6月12日（月）
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の選定について
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会副会長の選定について
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選定について

第3回	令和5年10月16日(月)
議案第9号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の欠員に伴う選任候補の推薦について
議案第10号	大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
議案第11号	大口社協訪問介護事業所訪問介護事業運営規程の一部改正について
議案第12号	大口社協訪問介護事業所介護予防訪問型サービス事業運営規程の一部改正について
議案第13号	大口社協デイサービスセンター通所介護事業運営規程の一部改正について
議案第14号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービス事業運営規程の一部改正について
議案第15号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービスミニデイ事業運営規程の一部改正について
議案第16号	大口社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
議案第17号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第18号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第19号	「令和5年度大口町表彰式」に係る被表彰者選考について
第4回	令和6年3月14日(木)
議案第20号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出補正予算(第1号)(案)について
議案第21号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画(案)について
議案第22号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出予算(案)について
議案第23号	令和5年度第2回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所等について
議案第24号	大口社協デイサービスセンター通所介護事業運営規程の一部改正について
議案第25号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービス事業運営規程の一部改正について
議案第26号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービスミニデイ事業運営規程の一部改正について
議案第27号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事候補者の選任について
第5回	令和6年3月25日(月)
議案第28号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選任について

イ. 評議員会の開催

第1回	令和5年6月12日(月)
議案第1号	令和4年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	令和4年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収支決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事及び監事の任期満了に伴う選任について

第2回	令和6年3月25日
議案第4号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出補正予算(第1号)(案)について
議案第5号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画(案)について
議案第6号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収支予算(案)について
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について

(2) 研修会の開催

「令和5年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員・民生委員・児童委員・第三者委員

講師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 川島ゆり子先生

開催日	場所	内容	参加数
令和5年 11月28日	健康文化センター 1階 多目的室	「地域の声に気づく・ つなぐ社協の意義」	55名

(3) 会員の確保と拡大を推進し、事業実施に必要な自主財源増収に努めた。

*会員募集強化月間 5月～7月

*会費金額(年額) 一般会員 500円 賛助会員 1口 1,000円

法人会員 1口 3,000円

会員募集加入状況一覧表 *上段は令和5年度・下段は令和4年度

区分	加入数	金額	増減額	加入率 (※)
一般・賛助	4,290件	2,195,200円	▲219,300円	43%
	4,661件	2,414,500円		49.6%
法人	105件	711,400円	33,000円	/
	104件	678,400円		
合計		2,906,600円	▲186,300円	
		3,092,400円		

(※) 加入率:各年度4月1日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出

(4) 財務諸表、現況報告書等を公表し、運営の透明性を確保した。

(5) 適切な人事労務管理を行い、円滑に事業を推進できる職員体制を整備した。

(6) 外部研修等を活用し、職員(コミュニティーソーシャルワーカー)の資質向上を図った。

- (7) 行政や関係機関より受任する役員・委員等として、各種会議・研修等に出席し、連携を図った。

各種会議

名称	出席件数
大口町高齢者サービス調整会議	4回
大口町障がい者福祉調整会議	3回
大口町子ども・子育て会議	2回
愛知県社会福祉協議会地域委員会	1回
成年後見制度利用促進計画策定委員会	3回

- (8) 第三者委員を設置し、福祉サービスの苦情解決制度の運用をした。

第三者委員への苦情報告件数 3件

- (9) 個人情報保護規程に基づき、個人情報保護の遵守を徹底した。

2. 機関紙発行事業

- (1) 広報「おおぐち社協だより」を年4回発行し、町広報紙と共に町内全戸配布により、社協情報や福祉関連情報を広く発信した。

「おおぐち社協だより」

- ・発行部数 9,350部
 - ・発行月 4月・7月・10月・1月（年4回）
 - ・配布対象 町内世帯、企業・法人、関係機関等
- (2) 公式ホームページを開設し、「見やすい社協」をこころがけ社協事業をPRし、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

Ⅱ. 「支え合いの地域づくり」の推進

『大口町総合計画』において、地域福祉は健康で安心な暮らしの基本施策のひとつとして位置づけられており、福祉教育の充実、社会福祉協議会の強化、担い手の発掘・育成、ふれあいサロン等の小地域福祉活動の促進、地域住民による見守りや生活を支える活動の推進等があげられています。

その取り組み目標は、本会及びその事業と密接に関わっており、地域住民やボランティア、民生委員児童委員等の参加を得ながら、「支え合いの地域づくり」に向け、それぞれの地区の地域性に合わせて取り組みを推進しました。

1. ボランティアセンター事業

- (1) 町内児童センター等において、ボランティアサークルが「夏休み出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童等を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

開催日	場所	内 容	参加数
7月27日	南小体育館	高齢者疑似の体験、豆つかみ、色塗り、衣服の着脱	21名
8月19日	西児童センター	防災クイズ、災害時用のトイレ、カップ作り	9名
8月23日	南小体育館	おもちゃ作り、おもちゃ図書館の歴史、カプラ遊び、パオパオバルーン	37名
8月24日	北小体育館	あいさつじゃんけん、身振り手振りで伝えよう、まねしちゃだめよゲーム、伝言ゲーム、自分の名前を覚えよう	17名
8月26日	西児童センター	不思議な図形を使った手品、必ずそろそろ不思議な折り紙、トランプ手品	15名
合 計			99名

(2) 各種養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. 運転ボランティア養成講座(全1回)

講師 名鉄自動車専門学校 講師

成果 ふれあいサロン等へ高齢者を送迎する運転ボランティアを育成し、安心・安全な運転の実践に必要な支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
6月21日	名鉄自動車専門学校	・運転ボランティアについての説明 ・安全運転講習(実技)	3名

イ. ボランティア養成講座マジック入門(全4回)

講師 大口マジックボランティアクラブ 代表 内田 敬 氏

成果 初めて開講する講座であったが、受講者にマジックの基礎を伝えることができた。また養成講座を通じ、新しい団体をPRすることができた。

開催日	場所	内容	参加数
7月27日	大口町 健康文化センター4階 ほほえみ2	・マジックの基本 ・トランプ、日用品を使ったマジック	5名
8月3日		・コミュニケーションマジックの基礎① ・トランプ、日用品を使ったマジック	7名
8月10日		・コミュニケーションマジックの基礎② ・マジック道具を使った手品	5名
8月17日		・コミュニケーションマジックの基礎③ ・まとめ	7名

ウ. 手話ボランティア養成講座～手話を始めてみませんか（全6回）

講師 大口町手話サークルコスモス 会員

開催日	場所	内容	参加数
11月2日	大口町健康文化センター4階 ほほえみ2	・じゃんけんをしよう（あいさつ） ・6つのコミュニケーション方法	7名
11月9日		・自分の名前、住所 ・数の表現を学ぼう	8名
11月16日		・家族、誕生日、月日（カレンダー）	8名
11月30日		・趣味、仕事、お金、時間	7名
12月7日		・色、地元の地名 ・東海三県、身振りの伝言ゲーム	8名
12月14日		・会話をしてみよう ・自己紹介できるかな	6名

成果 全6回の講座で手話の基礎を学ぶことができた。受講者は団体に加入する意欲をみせ、人員補強をするきっかけができた。

- (3) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発をすすめた。
- (4) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催。
- (5) 「社協だより」に編集ボランティアサークルによる「ボランティア情報局」を掲載し、情報を発信した。
- (6) 音訳ボランティアサークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、バリアフリー化支援ソフトを使用したホームページ等を通して、視覚障がい者等への情報提供支援を行った。（再掲）
- (7) 手話による聴覚障がい者等への情報提供支援を行った。
- (8) 点訳ボランティアサークルによる点字投票制度の協力を行った。

実施日	場所	内容	参加数
3月22日	大口町健康文化センター4階 ほほえみホール	全国要約筆記問題研究会 山岡千恵子氏による、「コミュニケーション方法について」をテーマに講演会を実施した。	27名

(9) ボランティア活動育成費の助成実績

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

助成団体	助成金額
17 団体	254,001 円
13 団体	201,431 円

(10) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催、情報の発信とボランティア相互の交流に基づいたテーマ別研修を年6回開催し活動を支援した。また今年度はボランティア連絡協議会総会を行い、新役員の選任を行った。

ア. 令和5年度テーマ「ボランティアの絆」に関する研修活動の支援

開催日	講師	内容
5月19日		・令和4年度西尾張ブロックボランティアフェスティバルDVD鑑賞
7月21日	ガイドボランティアあい♡あい	・ガイドヘルプの紹介 ・ガイドヘルプの体験
9月15日	点訳フレンド	・点字の説明 ・点字体験
11月24日	おもちゃ病院おおぐち	・おもちゃ病院の説明 ・おもちゃ修理の見学
1月19日	大口町社会福祉協議会	・社協おたすけ隊 ・今年のボランティア活動を振り返って
3月22日 (合同研修会)	全国要約筆記問題研究会 山岡千恵子氏	・コミュニケーション方法について

イ. ボランティア連絡協議会総会

実施日	場所	内容	参加数
3月22日	大口町健康文化センター4階 ほほえみホール	・ボランティア連絡協議会役員選任について	16名

(11) ボランティア保険加入の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況 (ボランティア活動保険加入者数)

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

種別	団体数	人数	男性	女性
グループ	30	376名	185名	191名
	33	349名	172名	177名
個人		5名	4名	1名
		3名	1名	2名
合計		381名	189名	192名
		352名	173名	179名
増減人員	△3	29名	16名	13名

イ. ボランティア保険の対象事故件数 2件

(12) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

ア. トヨタ紡織株

大口町ふれあいまつり ふくしわくわくランドにおいて、車いす掃除のボランティア活動を支援した。

(13) ボランティア活動やボランティア派遣に関する相談に応じた。

相談及び派遣件数

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

相談件数	派遣件数
17件	5件
15件	2件

(14) 他市町域のボランティア・社協と共催して、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催した。

実施日	場所	内容	参加数
1月21日	弥富市総合社会教育センター	「笑い与健康とボランティア」をテーマに、西尾張ブロック14市町村のボランティア団体・社会福祉協議会と共催し、オープニングセレモニー、基調講演、ボランティアブース出展を実施した。	400名 (全体)

(15) ボランティアセンター運営委員会を開催した。

ボランティアセンター運営委員会

実施日	場所	内容	参加数
8月7日	大口町健康文化センター 1階多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・新運営委員の紹介 ・令和4年度大口町社会福祉協議会事業報告（ボランティア関連抜粋） ・令和5年度ボランティア登録者状況の報告 ・令和5年度大口町社会福祉協議会事業計画（ボランティア関連抜粋） 	9名
3月22日	大口町健康文化センター 4階ほほえみホール	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の選任 ・委員長、副委員長の選任について 	8名

2. 地域福祉活動事業（貸出事業、体験事業）

(1) 町民、行政区、学校、企業などを対象に、地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援を目的とした貸出サービスを行った。

- ・車イス ・松葉杖 ・福祉車両等 ・綿菓子機
- ・ポップコーン機 ・福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット等)
- ・障がい者スポーツ用具（ドッジビー・ボッチャ・ディスクゲッター等）

貸出状況

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

種類	件数
車イス・松葉杖	104件
	117件
福祉車両等	32件
	58件
綿菓子機・ポップコーン機	8件
	2件
福祉教材・サロン用備品等 (点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ等)	5件
	5件
障がい者スポーツ用具 (ドッジビー・ボッチャ・ディスクゲッター等)	4件
	5件
合計	153件
	187件

(2) 高齢者の移動手段確保の選択肢として電動カートの試乗体験を行い、町民が

いつまでも住みなれた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるよう支援を行った。

- ・運転免許返納後等の「高齢者の足の確保の問題」は地域課題となっており、それを解決するひとつの選択肢として、電動カートを知る機会を提供してほしいとのニーズを受け、昨年度に引き続き事業を実施した。
- ・試乗や商品説明を希望する地域住民に対し、試乗体験を行い、電動カートを知り、利用を検討する機会を提供した。

電動カート試乗体験事業 利用実績 8件

3. 高齢者福祉事業

- (1) 民生委員児童委員と大口町水彩画クラブの協力で、85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理と絵手紙を届けた。

実施日 令和5年12月30日

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	71世帯	15世帯	86世帯
	64世帯	15世帯	79世帯

- (2) 満88歳の米寿の方を対象に、ご自宅を訪問し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈した。

米寿お祝い品贈呈配布数 実施期間 令和5年4月～令和6年3月

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

配布月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配布数	8	11	4	5	7	7	6	7	7	14	9	8	93件
	6	4	4	3	10	7	9	4	7	11	11	13	89件

- (3) 99歳以上の方を対象に、敬老のお祝い品を贈呈した。

敬老お祝い品配布数 実施日 令和5年9月16日

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

配布数	14件
	13件

- (4) 認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。

オレンジカフェ・大口 開催実績

開催日	内容	参加数	内スタッフ数
4月20日	1950年代の流行	19名	7名
5月19日	あなたの故郷	15名	7名
6月15日	イントロクイズ	15名	6名
7月20日	1960年代の流行	13名	6名
8月17日	夏の風物詩、都道府県クイズ	13名	5名
9月21日	イントロクイズ	14名	6名
10月19日	1970年代の流行	14名	6名
11月16日	師走に向けて、伝承遊び	18名	6名
12月21日	大みそかといえば？・イントロクイズ	15名	6名
1月18日	冬の風物詩、都道府県クイズ	15名	7名
2月15日	1980年代、座ってボウリング	20名	6名
3月21日	イントロクイズ 春の歌編	15名	6名
合 計		186名	74名

- (5) 孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」を支援した。

ふれあいサロンでの「地域ふれあい会食会」開催状況

サロン名	件数	開催日
さつきヶ丘区元気会	2件	9月19日、2月20日
外坪区ほっこり	2件	12月13日、2月14日
上小口区散歩道	4件	4月15日、6月15日 12月15日、2月15日
河北区陽だまり	2件	7月12日、1月10日
萩島区ふれあいサロン会	1件	11月19日
大屋敷区にここ	1件	10月 4日
余野区さろんボッチャ	1件	3月 6日

4. 障がい児者福祉事業

- (1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第37回大口町障がい者スポーツ大会」を開催し、当事者の方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、ボランティア、民生委員児童委員等と交流をはかり、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参加者 身体障害者福祉協会、心身障害児（者）親の会
 協力団体 江南ロータリークラブ、(株)東海理化、民生委員・児童委員協議会、
 ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
10月7日	中央公民館 集会室	ナイスシュート、車いす競争、 障害者スポーツを体験しよう、玉入れ、総踊り	84名

(2) 障がい者日帰り旅行事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月30日	長野県阿智村 昼神温泉	ユルイの宿恵山にて昼食。 昼神温泉散策。	14名

(3) 「大口おもちゃ図書館さくら」の活動を支援した。

(4) 精神障がい者等を対象とする「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。

(5) 障がい者スポーツ用具の貸出や、「障がい者スポーツ指導員」の派遣等を通じて、障がい者スポーツ活動を支援した。

障がい者スポーツ用具の貸出、指導員の派遣実績

団体名	支援内容	件数
下小口区ちとせ会	スポーツ用具の貸出	2件
	障害者スポーツ指導員派遣	
河北区陽だまり	スポーツ用具の貸出	2件
	障がい者スポーツ指導員派遣	
余野千歳会	スポーツ用具の貸出	36件

5. 児童福祉事業

(1) 障がいのある方やボランティア、福祉施設の協力により、町内小中学校で福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を開催する計画について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、実施時期や科目数等工夫し開催した。

福祉実践教室 参加人数・実施科目等

学校名	学年	科目数	参加人数	実施日	実施科目
大口中学校	1年生	7	240名	5月23日 5月24日 5月30日	知的障がい 発達障がい理解
南小学校	3年生	2	56名	5月26日	手話教室
	4年生	1	26名	6月29日	点字教室
		1	28名	6月29日	視覚障がい者ガイドヘルプ
	5年生	1	52名	7月10日	車いす体験
	6年生	1	58名	12月1日	盲導犬教室
北小学校	3年生	1	33名	1月12日	車いす体験
		1	33名	1月12日	手話教室
		1	34名	1月12日	視覚障がい者ガイドヘルプ
		1	33名	1月12日	点字教室
西小学校	3年生	3	80名	12月6日 2月20日	手話教室
	4年生	3	85名	11月20日 11月21日 11月22日	点字教室
		1	92名	9月12日	盲導犬教室
	5年生	3	83名	11月29日	高齢者疑似体験
	6年生	1	73名	6月26日	車いす体験
		1	70名	10月2日	防災教室
学校合計		30	延 1,076名	延 21日	

(2) 町内児童センター等において、ボランティアサークルが「夏休み出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童等を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。(再掲)

(3) 子育て支援サークルに助成した。

(4) 「おもちゃ病院おおぐち」の活動を支援した。

- (5) 福祉施設の協力により青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。
- (6) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時のお祝品をプレゼントした。

赤ちゃん訪問プレゼント配布数 *上段は令和5年度・下段は令和4年度

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数(品目)	163名(絵本)	169名(スプーンセット)
配布数(品目)	208名(絵本)	207名(スプーンセット)

- (7) 「子育てサロンまむ*まむ」の活動の支援をした。
- (8) 親子や家族で参加できる福祉教室(施設見学ツアー)を企画し、家族で福祉について考える機会の提供や、福祉施設学習の支援を行った。
- 見学施設数 13か所(うち施設内見学3か所)
- 参加数 大人16名・子ども3名

開催日	種別	施設名称	見学方法
8月9日	高齢者	ゴールドエイジ大口	施設内見学・説明
	障がい者	ハートフル大口	施設内見学・説明
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	施設内見学・説明
	高齢者	軽費老人ホーム一期一会荘	外観見学 資料により施設紹介
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
	高齢者	Kライン・ケアレジデンス大口	
	児童	発達支援室 ふきの塔・そらま芽	
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	
	高齢者	グループホームふれあいの家	
	児童	放課後等デイサービスぼけっと	
	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	
高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター		

6. 母子父子福祉事業

- (1) 対象世帯に親子ふれあいの一助となるグルメ券(3,000円分)を配布する、ふれあいギフト事業を実施した。

ひとり親家庭グルメ券配布数 169件(世帯)

(2) 母子寡婦福祉会への活動支援に努めた。

(3) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝金を贈った。

ひとり親家庭お祝い金贈呈数

項目	お祝金	件数（4年度件数）	合計（4年度金額）
小学校	3,000円	2件（2件）	6,000円（6,000円）
中学校	3,000円	5件（4件）	15,000円（12,000円）
高校等	5,000円	10件（9件）	50,000円（45,000円）
合計		17件（15件）	71,000円（63,000円）

7. 福祉育成援助事業

(1) フードバンク事業として、民間団体（民間フードバンクや災害用備蓄品活用支援団体等）との連携や、地域住民や企業等からの寄贈により食料品を確保し、生活困窮者の食料支援につなげた。

支援件数	19件
提供個数	338個

(2) フードドライブの窓口を常設し、家庭等で余っている食料品を募集して、フードバンク事業に活用する。必要に応じ、行政と連携したフードドライブの取り組みを実施した。

受入れ先	件数	個数
企業	9件	2,835個
地域住民	29件	1,274個
合計	38件	4,109個

(3) 大口町と共同で新型コロナウイルス感染症自宅療養支援事業を実施し、社協独自の食料支援としてフードバンク事業を活用した。（再掲）

(4) 行路人等への交通費等の少額の資金支援を行う。

行路人等への支援件数 0件

(5) 地域における広域の地域福祉推進事業として、各行政区が実施する事業に対し、行政区の募金実績額に応じて配分金を交付し、地域福祉活動の支援を行った。

行政区への募金配分

地区名	令和4年度募金実績額	令和5年度配分額
秋田	164,500円	16,000円
豊田	251,100円	25,000円
大屋敷	150,900円	15,000円
外坪	100,000円	10,000円
河北	184,500円	18,000円

余野	188,500 円	18,000 円
上小口	152,500 円	15,000 円
中小口	184,000 円	18,000 円
下小口	595,500 円	59,000 円
垣田	82,980 円	8,000 円
さつきヶ丘	108,500 円	10,000 円
合計	2,162,980 円	212,000 円

・配分額

前年度の赤い羽根共同募金実績額に 1 割を乗じ千円未満を切り捨てた額

- (6) 援助を必要とする生活困窮者等の緊急一時的な食料不足に対し、民間団体（フードバンクや災害用備蓄品活用団体）や企業との連携により、食料支援を行った。

* 上段は令和 5 年度・下段は令和 4 年度

食料支援件数
19 件（生活困窮世帯）
26 件

- (7) コロナ特例貸付利用者に対して、現況調査を行い希望される方への食料支援を行った。

* 上段は令和 5 年度・下段は令和 4 年度

食料支援件数
3 件（コロナ特例貸付利用者）
10 件

8. ふれあいサロン事業

- (1) サロン備品の初回購入及び故障・破損等による買替の助成を行った。
- (2) サロン開催実績回数に応じて助成を行った。

ふれあいサロン助成金交付実績

対象サロン数	申請サロン数	助成金額
18 か所	16 か所	387,000 円

- (3) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。
- (4) サロンの PR や広報等ちらしを作成し活動を支援した。

- (5) 各サロンが一同に会し、情報交換できる「ふれあいサロン連絡会」を開催した。

ア. ふれあいサロン連絡会

開催日	場所	内 容	参加数
令和5年 4月13日	健康文化センター1階 多目的室	社協の支援する地域ふれあいサロン9か所の運営スタッフが参加。わいわい、がやがや、情報交換！タイムを実施。うちのサロン自慢、やってよかったことや悩んでいることなど、意見交換を行った。うちのサロン自慢は、サロンマップに貼り、窓口に掲示。	23名

- (6) 出前形式のサロンを開催し、定期的にサロン運営できるように支援した。

令和5年度ふれあいサロン開催状況一覧

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加数
1	地域	外坪区 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00~11:30	外坪学共	24回 延 924名
2	地域	大屋敷新田地区 いっぶく茶屋	第2土曜日 9:30~11:30	新田集会場	0回
3	地域	さつきヶ丘区 サロンさつき	第1・第3水曜日 9:30~11:30	さつきヶ丘 防災センター	24回 延 603名
4	地域	さつきヶ丘区 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00~15:30	さつきヶ丘 防災センター	24回 延 388名
5	地域	大屋敷区 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30~11:30	大屋敷学共	19回 延 196名
6	地域	河北区 陽だまり	奇数月第2水曜日 9:30~11:30	河北区学供	6回 延 260名
7	地域	秋田替地地区 替地ふれあいサロン	第2日曜日ほか 9:00~12:00	替地集会場	14回 延 121名
8	地域	豊田区 どんぐりころころ	毎週金曜日 13:30~15:00	豊田学共	48回 延 376名
9	地域	上小口区 散歩道	偶数月15日 9:30~11:30	上小口学供	6回 延 173名
10	障がい	フリースペース れんげそう	第4木曜日 13:30~15:00	健康文化センター 4階 和室	12回 延 70名

11	障がい	忘れな草の会	水曜日月 2～4 回 9:00～16:00	健康文化センター 2 階	42 回 延 175 名
12	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第 3 火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1 階 研修室	0 回
13	子育て	子育てサロン まむまむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2 階おもちゃ図書館	48 回 延 534 名
14	介護・認知症予防	オレンジカフェ・ 大口	第 3 木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援 センター	12 回 延 183 名
15	介護予防	青空あかりサロン	第 3 水曜日 13:30～15:00	大口ケアセンター あかり 2 階	10 回 延 81 名
16	地域	さろんボッチャ	毎月水曜日 (月 3 回) 13:30～15:00	余野学共	36 回 延 704 名
17	地域	中小口区なかおぐち ふれあい喫茶	毎週木曜日 9:00～16:00	中小口地区コミュニ ティセンター	48 回 延 850 名
18	地域	上小口萩島地区 ふれあいサロン会	第 1 火曜日 第 4 金曜日 13:00～14:30	萩島集会場	14 回 延 173 名
サロン数合計			18 か所	開催回数合計 参加数合計	387 回 延 5,811 名
令和 4 年度サロン数			17 か所	令和 5 年開催回数合計 参加数合計	272 回 延 4,021 名

9. 生活支援体制整備事業（一部、大口町委託事業）

- (1) 大口町生活支援体制整備事業を受託し、北地域の第 2 層生活支援コーディネーターとして地域自治組織を中心とする協議体に参画し、地域づくりや生活支援サービスの創出に向けた協議や事業実施に向けた検討を行った。

* 生活支援コーディネーター業務の活動実績

本事業は、社協の地域福祉事業と共通点が多く、本事業の業務と社協事業の業務を整理・融合しながら実施した。

- ・北地域自治組織福祉部会、北地域開催事業、各種研修・会議・打合せ等

年間活動件数

担当日常生活圏域	件数
第 2 層協議体（北地域）	230 件

- (2) 地域住民の誰もが参加できるふれあいサロン活動の拡充に努めた。

- (3) 住民参加型の生活支援「おたすけ隊サービス」について、人材育成研修や運営の体制整備等を行った。

(4) 地域における高齢者・障がい者世帯等の生活支援のニーズと、「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行った。

①おたすけ隊サービス事業の概要

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者や障がい者等で福祉的な配慮のもと日常生活上の支援を要する者に対し、住民どうしの助け合いによる簡易な生活支援であるおたすけ隊サービスを提供するとともに、地域の見守りと助け合いを推進した。

ア. 協力会員の年間活動件数 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

年間活動件数
55件
62件

イ. おたすけ隊コーディネーターの年間活動件数

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

初回アセスメント	協力員会員の 同行支援	下見・モニタリン グ等訪問	その他
9件	23件	19件	2件
9件	23件	15件	1件

ウ. おたすけ隊サービス会員登録状況 (令和6年3月31日現在)

*人数上段は令和5年度・下段は令和4年度

会員種別	人数	男女別	平均年齢
利用会員	56名	男性 13名	83歳 (65歳未満の 障がい者を除く)
	48名	女性 43名	
協力会員	20名	男性 7名	72.7歳
	18名	女性 13名	

エ. 生活支援ニーズとおたすけ隊サービスの活動のマッチング

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

生活支援ニーズ
<ul style="list-style-type: none">・単身高齢者・高齢者世帯、障がい者世帯、老障世帯、ケアマネジャーや包括支援センターからの相談。・持病・障がい・腰痛等により、高い所・低い所の掃除、電球交換、まとめてごみ出し等ができないので、手伝って欲しい。・公的サービスの時間数が不足して困っているため、手伝って欲しい。・今はまだサービスは不要だが、ひとり暮らしで不安なため、何かあったときに備えて登録しておきたい。等
実施サービス
<ul style="list-style-type: none">・居室、台所、窓ガラス等の簡単な掃除・買い物（食料品、日用品等の購入）・リサイクルセンターへの資源・不燃ごみ出し・電球交換、電灯取替・エアコンのフィルターの掃除・コインランドリーへ毛布の運搬・家具移動・じゅうたんの交換・害虫駆除剤の散布の補助・簡単な除草剤の散布・柿の収穫、枯葉掃除・除草した草を処理場へ運搬

オ. 社会福祉協議会職員（おたすけ隊コーディネーター）の具体的な業務

- ・社協窓口または電話・FAXで、利用相談を受付。
- ・利用相談者の自宅を訪問し、アセスメント。利用会員登録を受付。
- ・利用会員のニーズと協力会員のマッチングし、訪問をコーディネート。
- ・アセスメントシート、「サービス依頼書」等、必要書類の作成。
- ・利用会員の自宅を訪問し、協力会員との顔合わせ、サービス実施後のチケット受渡し、記録までの立ち会い。
- ・継続利用の場合は、利用状況のモニタリング。

(5) 関係者間の情報共有、生活支援サービス提供主体間の連携の体制づくり等

①生活支援おたすけ隊サービスに関する連携、情報共有

- ア. 民生委員児童委員 7件
- イ. 地域包括支援センター 4件
- ウ. ケアマネジャー 2件

高齢者世帯等の事例について、情報共有し必要なサービス等につないだ。

(6) 生活支援サービス提供主体等が参画する定期的な情報共有・連携強化の場との連携・協働に関する業務

ア. 第2層協議体生活支援コーディネーターとして出席した会議等

会議・行事等名称	出席件数
三地域代表者会	12件
北地域自治組織 総会・理事会	13件
北地域自治組織 福祉部会	11件
北地域避難・防災訓練・北地域内福祉施設見学	2件

会議・行事等名称	出席件数
大口町生活支援コーディネーター意見交換会	8件
ケアマネ連絡会、自立支援型包括ケアデモ会議	1件
高齢者等情報交換会	12件
健康推進員研修及び代表健康推進員連絡会（打合せ含む）	3件
北地域自治組織 第7回福祉の集い「認知症を知り、徘徊者捜索対応を学ぶ」	1件
3地域ふくし交流会	1件

イ. その他、生活支援体制整備事業に関連する研修会等への出席

会議・行事等名称	出席件数
令和5年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修	3件
令和5年度3市2町社会福祉協議会 地域福祉担当職員研修会	1件

(7) 重層的支援体制整備事業の取組に向けて県・町と連携・調整を図りながら検討した。

10. 福祉関連団体支援事業

(1) 町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

福祉関係団体助成金交付実績

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	300,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉協会	10,000 円

(2) 身体障害者福祉協会、遺族会、母子寡婦福祉会の事務局として、定例会及び研修会等の開催を支援した。

11. 顕彰表彰事業

(1) 大口町と大口町表彰式を共催し、福祉功労や家庭介護等の表彰を行った。

大口町表彰式

司 会 音訳ボランティアたんぽぽ
 情報支援 大口町手話サークル

開催日	場所	内容	来場者
11月18日	健康文化センター多目的室	社会福祉協議会の顕彰者 社会福祉協議会会長表彰 2名 社会福祉協議会会長感謝 1団体 社会福祉協議会会長感謝 2名	110名

(2) 愛知県社会福祉大会等の顕彰・表彰について、該当者の調査・推薦等を行った。

愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
12月22日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 愛知県社会福祉協議会会長感謝 5名 愛知県共同募金会会長表彰 1団体	約200名 (会全体)

Ⅲ. 「伴走型の個別支援」の充実

本会の総合福祉相談事業は、さまざまな生活課題や日常生活の困りごとを抱えるすべての世帯を対象として、専門職が幅広く相談を受け、必要に応じ食料支援や資金貸付、福祉サービス利用援助、金銭管理、介護サービス、就労支援等、多様な課題解決策を用いて支援します。

また、世帯の当事者が人とつながり、地域社会に参加しながら生活することができるよう何年もかけて伴走し寄り添いながら、継続的に関わり、制度外の福祉ニーズにも対応した柔軟な支援を行います。こうした専門職による「伴走型の個別支援」は、本会の相談事業の大きな特色であり、長年の実践を活かして一層の充実を図りました。

1. 心配ごと相談所

(1) 母子父子自立支援相談

愛知県母子・父子自立支援員が、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談に対応し、母子父子寡婦福祉資金等貸付制度の紹介等を行った。

(2) 女性相談

愛知県女性相談員が、配偶者からの暴力、離婚問題、家庭不和、近隣等との人間関係の悩みなど女性の抱える様々な問題について相談を行った。

(3) 高齢者・障がい者のための弁護士相談

弁護士が、高齢者・障がい者の法律に関する相談に応じた。

ア. 相談状況※ 上段は令和5年度実績・下段は令和4年度実績

件数	相談者性別等
31件	男性3名・女性28名
20件	男性1名・女性19名

イ. その他、窓口社協職員による相談状況 0件

ウ. 相談内容（延べ相談件数）＊上段は令和5年度・下段は令和4年度

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
3	8	2	12	9	0	0	3	7	1	1	0	11	2	5	64
0	2	1	8	3	0	1	5	3	1	0	4	8	0	2	38

2. 総合福祉相談事業

- (1) 相談窓口を常設し、地域住民の多様な生活課題等に関して、専門職が幅広く相談に応じた。
- (2) 必要に応じ相談者と契約し、支援計画を作成して、世帯の生活課題やニーズを明らかにしながら個別支援を行った。

ア. 契約者以外の相談状況

＊上段は令和5年度・下段は令和4年度

内容	件数
問合せ・相談のみ	1件
	10件

イ. 総合福祉相談事業契約者のサービス利用状況

総合福祉相談事業契約者数 6名（男性3名・女性3名）

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

＊上段は令和5年度・下段は令和4年度

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者等	2名	95件
	3名	111件
知的障がい者 精神障がい者	4名	327件
	6名	384件
合計	6名	422件
	9名	495件

①福祉サービス利用援助

- ・さまざまな福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
- ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
- ・必要に応じ、行政、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、就労事業所等の関係機関との連絡調整を行い、生活困窮者自立支援や生活保護、成年後見制度、就労支援・訪問介護・配食サービス等の福祉サービスの利用を援助する

②日常的な金銭管理サービス

- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・医療機関への医療費の支払いの手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き
- ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、また預貯金の解約の手続きの援助

③日常生活に必要な援助

- ・居住家屋の賃借に関する相談・情報提供、行政手続き等の事務手続き
- ・生活環境の整備
- ・日常生活に使用する物品の整備
- ・医療機関の受診援助等

④書類や通帳等の預かりサービス

年金証書、預金通帳、証書、実印、銀行印等

⑤その他必要な援助

- ・相談者の社会参加、地域の見守りや社会資源の活用につなぐ支援等

(3) 必要に応じ、緊急的な支援（再掲）

- ・食料支援
- ・資金貸付（町くらし資金）

(4) 福祉サービス利用援助

- ・さまざまな福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
- ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続き

(5) 日常的な金銭管理サービス

- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・医療機関への医療費の支払いの手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き
- ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、または預金の解約の手続き

(6) 日常生活に必要な事務手続き援助

- ・居住家屋の賃借に関する相談・情報提供、行政手続き等

(7) 書類や通帳等の預かりサービス

- ・年金証書、預貯金通帳、証書、実印、銀行印等

(8) 相談者の社会参加、地域の見守りや社会資源の活用につなぐ支援を行った。

3. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業／愛知県社協委託事業）

- (1) 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方やその家族、関係者からの相談に専門員が応じた。
- (2) 利用希望者の訪問調査を行い、契約締結審査会へ審査を依頼した。

ア. 契約者以外の相談状況 問合せ・相談のみ（初回相談受付含む）

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

対象者	件数
認知症高齢者等	10件
	1件
知的障がい者	3件
	1件
精神障がい者	0件
	2件
不明・その他	1件
	1件
合計	14件
	5件

イ. 福祉サービス利用援助事業契約者のサービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数 9名（男性5名・女性4名）

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者等	1名	356件
	1名	352件
知的障がい者	6名	1,326件
	7名	1,501件
精神障がい者	2名	451件
	2名	525件
合計	9名	2,133件
	10名	2,378件

- (3) 契約締結審査会で承認された利用者と契約し、支援計画を作成した。
- (4) 生活支援員を雇用し、支援計画のもと利用者への個別支援を行った。

生活支援員の活動状況

生活支援員 2名

「イ. 福祉サービス利用援助事業契約者のサービス利用状況」のうち、生活支援員による延べ支援件数

58件

(5) 福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
- ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続き

(6) 日常的な金銭管理サービス

- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・医療機関への医療費の支払いの手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き
- ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、または預金の解約の手続き

(7) 日常生活に必要な事務手続き援助

- ・居住家屋の賃借に関する相談・情報提供、行政手続き等

(8) 書類や通帳等の預かりサービス

- ・年金証書、預金通帳、証書、実印、銀行印等

4. 貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（愛知県社協委託事業）

低所得世帯や高齢者・障がい者世帯、関係者等からの貸付相談に応じた。

ア. 相談件数 40件

項目	福祉資金		総合支援資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金
	福祉費	緊急小口資金			
件数	4件	27件	7件	2件	0件

借入申込世帯の聞き取り調査を行い、必要に応じ民生委員と連携し、生活福祉資金調査委員会による審査を行った。

生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会へ申請した。

貸付後、民生委員と連携し、借受人世帯の償還指導を行った。

定期的に、愛知県社会福祉協議会へ償還指導状況を報告した。

* 資金種類

- ・福祉資金（福祉費、緊急小口資金）
- ・教育支援資金（教育支援費、就学支度費）
- ・総合支援資金

- ・不動産担保型生活資金
- ・新型コロナ特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）

イ. 生活福祉資金貸付状況

（単位：円）

資金種類	件数	貸付金額 (元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	*未償還額 (滞納額を含む) (4)	
福祉 資金	福祉費	1件	700,000	153,378	596,590	256,788
	緊急小 口資金	90件	14,470,000	688,819	4,035,513	11,123,306
離職者支援資金	1件	2,400,000	3,378,182	57,140	5,721,042	
総合支援資金	38件	19,968,000	1,449,374	250,980	21,166,394	
教育 支援 資金	教育 支援費	2件	915,000	115,336	715,000	315,336
	就学 支度費	1件	720,000	12,087	720,000	12,087
計	133件	39,173,000	5,797,176	6,375,223	38,594,953	

*未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

(2) 県くらし資金貸付事業（愛知県社協委託事業）

*原資 200,000円（愛知県社協）

借受人世帯の償還指導を行い、定期的に、愛知県社会福祉協議会へ償還指導状況を報告した。

貸付状況

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

（単位：円）

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
7件	213,000	20,000	193,000
7件	213,000	20,000	193,000

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金貸付事業（大口町社協独自事業）

*原資 1,500,000円（大口町社協） 上限 50,000円

生活福祉資金が非該当または緊急を要する貸付の場合、低所得世帯や高齢者・障がい者世帯、関係者等からの貸付相談に応じた。

借入申込世帯の聞き取り調査を行い、審査を行った。

貸付後、借受人世帯の償還指導を行った。

貸付状況

*上段は令和5年度・下段は令和4年度

（単位：円）

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
28件	715,500	120,500	595,000
32件	754,000	143,500	610,500

*未償還額 (3)=(1)-(2)

IV. 平常時における災害への備え

近年、地震だけでなく身近な台風、豪雨等による災害が相次いでおり、各地の市町村社協が災害ボランティアセンターを開設し、災害時のボランティア活動をコーディネートしています。

大口町と「大口町災害ボランティアセンターの開催及び運営に関する協定」の中社協が災害ボランティアセンターを担う組織として位置づけられ、ボランティアや行政と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練や各種訓練による人材育成に努めました。

1. 地域福祉活動事業（防災・災害関連事業）（一部、大口町委託事業）

(1) 大口町防災啓発事業を受託した。

防災・災害に関する研修等を開催し、地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図った。

また、養成講座と兼ねて災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

人材育成事業・防災訓練事業

災害ボランティアセンター設置運営訓練（防災訓練事業）を兼ねた人材育成研修を実施し、災害ボランティアコーディネーターのスキル維持を図り、大規模災害時にボランティアの受入・派遣拠点となる災害ボランティアセンターの運営を担う人材の育成に努めた。

ア. 災害ボランティアコーディネーター養成講座

実施日	場所	内容	参加数
12月2日	健康文化センター1階多目的室	大口町防災対策本部、災害ボランティア、kintoneに関する講義と、災害ボランティアセンター立上げ訓練を行い、運営方法について参加者・災害ボランティア団体と共有することができた。	28名

イ. 家具転倒防止講座

実施日	場所	内容	参加数
2月3日	健康文化センター1階多目的室	能登半島地震の情報提供や家具転倒防止についての講義、ガラス飛散防止フィルム張り、ボードの下地探し、L字金具の木ねじ固定の実習を行った。	15名

(2) 地域の防災訓練において、各種訓練や講座等を実施した。

防災訓練事業

実施日	場所	内容	参加数
10月21日	大口町北防災センター 多世代が集う憩いの広場	北地域避難防災訓練にて、車椅子の使用方法についてのブースを出展。参加者に対して、車椅子の使用方法についての説明を行った。	200名

(3) ボランティア団体等とともに、災害ボランティアセンター設置運営訓練事前訓練を実施した。

実施日	場所	内容	参加数
12月2日	健康文化センター 北駐車場	災害ボランティアセンター立上げの流れ、運営方法について参加者・災害ボランティア団体と共有することができた。新たな試みとして kintone システムの一部導入を行った。	28名

(4) 広報「社協だより」や展示等を通じて防災・災害に関する情報を発信し、防災意識を啓発した。

ア. 社協だより

・「おおぐち社協だより」を発行し、防災・災害に関する情報を発信した。

イ. 防災パネル展

実施期間	場所	内容
3月4日～3月14日	健康文化センター 1階ロビー	「防災啓発パネル展」

2. 災害時相互応援協定継続事業

- (1) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結を活かした継続事業として、復興支援活動や災害ボランティアセンターの運営等に当たる計画については、Zoomを使用した交流会及び情報交換会を実施した。

実施日	場所	内容	参加数
3月18日	社協事務局 (Zoomにて)	両社協の協定書における活動内容の確認と、情報共有を行った。 遠野市社協より能登半島災害派遣状況の報告。	8名

- (2) 岩手県遠野市社協関係者等と必要に応じて情報交換を行い、情報共有した。

3. 災害用備品整備事業（一部、大口町委託事業）

- (1) 災害ボランティアセンターや災害ボランティアに必要な備品を整備した。

V. 安心・安全な介護サービスの提供

在宅福祉部門の各介護事業所では、利用者の健康と命の安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、サービス提供をしました。また、制度の狭間で困難な生活課題を抱える人も含め、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努め、地域への介護情報の発信等により、介護予防普及啓発事業を推進しました。

本年度、災害時に備え業務継続計画（BCP）を策定しました。

1. 大口社協居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）

- (1) 介護保険法に基づき、介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者を対象として、ケアプランを作成した。
- (2) 利用者がその心身の状況等に応じ適切なサービスを利用できるよう、行政やサービス事業者等との連絡調整、モニタリング等を行った。
- (3) 介護支援専門員の連絡会等に出席し、情報共有や専門職の連携を図った。
- (4) 事業経営の安定化と介護保険制度改正に向けた調査や研修を行った。

大口社協居宅介護支援事業所 利用実績

(介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合)

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

*利用者数（延べ人数）は、1年間の延べ利用者数

*利用者数（実人数）は、3月末現在の利用者数

区 分	日常生活支援 総合	要支援 1~2	要介護 1~2	要介護 3~5	合 計
利用者数 (延べ人数)	26名	116名	702名	236名	1,080名
	36名	120名	685名	243名	1,084名
利用者数 (実人数)	3名	14名	76名	29名	122名
	6名	13名	86名	33名	138名
収 入	582,659円			11,231,482円	11,814,141円
	642,796円			11,149,956円	11,792,752円
増 減	▲60,137円			81,526円	21,389円

2. 大口社協訪問介護事業所（ホームヘルパー）

- (1) 介護保険法に基づき、介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者を対象として、訪問介護サービス（生活援助、身体介護、通院介助）を提供した。
- (2) 障害者総合支援法上のサービス利用者に対し、障害福祉サービス（居宅介護、行動援護、重度訪問介護）を提供した。
- (3) 大口町地域生活支援事業の委託を受け、移動支援サービスを提供した。
- (4) 必要に応じ、制度の狭間を補う独自事業の訪問介護サービスを提供した。
- (5) 事業所連絡会等に出席し、情報共有や専門職の連携を図った。
- (6) 事業経営の安定化と介護保険制度改正に向けての調査研究を行った。

大口社協訪問介護事業所 利用実績

(介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自)

* 上段は令和5年度・下段は令和4年度

*利用者数（延べ人数）は、1年間の延べ利用者数

*利用者数（実人数）は、3月末現在の利用者数

区 分	居宅介護等		障害者総合支援	合 計
	日常生活支援総合 (現行の訪問介護相当)	要介護 1～5		
利用者数 (延べ人数)	1,198名	1,927名	2,460名	5,585名
	604名	2,253名	2,328名	5,185名
利用者数 (実人数)	16名	15名	30名	61名
	10名	16名	30名	56名
収 入	10,480,403円		13,471,146円	23,951,549円
	9,553,748円		12,189,572円	21,743,320円
増 減	926,655円		1,281,574円	2,208,229円

3. 大口社協デイサービスセンター

- (1) 介護保険法に基づき、介護、介護予防のサービス利用者を対象として、通所介護サービスを提供した。
- (2) 介護保険法に基づき、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者（事業対象者）を対象として、介護予防通所型サービスミニデイ事業（通所型サービスA）を実施した。
- (3) 必要に応じ、制度の間を補う独自事業の通所介護サービスを提供した。

- (4) 事業所連絡会等に出席し、情報共有や専門職の連携を図った。
- (5) 事業経営の安定化と介護保険制度改正に向けての調査研究を行った。

大口社協デイサービスセンター 利用実績

(介護、介護予防・日常生活支援総合、独自)

- * 上段は令和5年度・下段は令和4年度
- * 利用者数（延べ人数）は、1年間の延べ利用者数
- * 利用者数（実人数）は、3月末現在の利用者数

区 分	通所介護 要介護1～5	介護予防通所型 サービス 要支援1～2 事業対象者	介護予防通所型 サービスミニデイ 事業対象者 (通所型サービスA)	合 計
利用者数 (延べ人数)	3,296名	328名	712名	4,336名
	3,346名	465名	703名	4,514名
利用者数 (実人数)	20名	6名	16名	42名
	26名	9名	15名	50名
収 入	27,074,937円	4,052,546円		31,127,483円
	27,378,262円	4,601,366円		31,979,628円
増 減	▲303,325円	▲548,820円		▲852,145円

4. 介護予防普及啓発事業

- (1) 介護予防普及啓発事業として、地域住民を対象として健康体操等の出前を行った。
- (2) 「社協だより」に介護事業所職員による「介護豆知識」の記事を掲載し、介護情報を発信した。
- (3) 大口町ふれあいまつりにおいて、事業所のPRと介護の普及啓発を行った。
- (4) 米寿お祝い訪問時において、介護予防の啓発をかねて福祉情報を発信した。

5. 介護事業所の経営向上と介護人材の育成

- (1) 経営会議を開催し、職員配置や勤務体制の変更、連絡網の活用等の対策を取りながらサービス提供を継続し、経営の維持・強化に努めた。
- (2) オンラインによる内外の研修会や勉強会を活用し、安心・安全な介護のためのスキルアップやサービスの質の向上に努めた。

VI. 感染症対策事業

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種の予約代行や、親族等の予約や公的サービス・公共交通機関やタクシー等での移動が困難な方に向け自宅から新型コロナウイルスワクチン接種会場への送迎を行った。

新型コロナウイルスワクチン接種おたすけサービス 利用者数 6名
利用件数 7件

- (2) 新型コロナウイルス感染症や濃厚接触者となり、自宅療養や外出制限を余儀なくされた方やその世帯に対し、「自宅療養応援セット」をお届けした。

自宅療養応援セット配布 11件

